

あなたは今、どんな信念を持っていますか？あなたには信念がありますか？聖書にも信念を持って歩んだ人とそうでない人の記事が出てきます。Ⅱ列王記5章に登場する人物の姿から見ていきましょう。【ナアマン】彼はあらゆる戦いでアラムを常に勝利に導いてきた英雄でした。さらに、強いだけではなく、アラムの王がナアマンの為に敵国の王に手紙を出したり、奴隷がナアマンの身を案じて助言するくらい周囲から尊敬され、愛されている事は聖書を読む中で理解する事ができます。そして奴隷の娘の話信じ、家臣たちの忠告を聞いて反省し、エリシャの言うとおりにヨルダン川に身を浸した彼の姿から、きちんと聴く耳を持ち合わせていた事がわかります。彼のように大切な事に信念を持って生きてると人から自然に重んじられる人生になるという事を伺い知る事ができます。【イスラエルの王】イスラエルの王は見るべき物を見れてなかったの、敵国アラムの王からの手紙を読んで自分の服を引き裂くという行為に及んでしまいました。イスラエルの王はアラムの王が何か良からぬ事を企んでいるのだと思い込みイスラエルに唯一の神がいるという事も忘れ、自分の事しか考えられないでいました。【エリシャ】イスラエルの王に対しエリシャは見るべきものがきちんと見えていました。自分の事しか見えていない王に自分の元にナアマンを連れて来るようにして下さいと冷静に対応します。そして彼が来た時も、人を見て対応するのではなく、唯一の神を求めて来た一人の人間として彼を扱います。ですから、直接出迎える事はせず、その時神がせよと言った事だけを忠実に行いました。どんな時もその時神にとって一番良い方法を選んで行く人でした。彼は預言者としてイスラエルの神が唯一の神だと人々に知らせる事が彼の信念だったので、ナアマンからの贈り物も受け取りませんでした。ナアマンが癒され神の存在を知る事ができた彼の姿を見ただけでエリシャは良かったからです。この様にエリシャは神に与えられた信念を強く持って生きて来た人でした。【ゲバジ】彼はそうではありませんでした。これまで何度も変れるチャンスはありましたが、この時もまた、嘘についてナアマンからの贈り物を受取るような事をしてしまいました。一時的な欲に目がくらんで見るべき物、すべき事が見えずにいたのです。そして一生らい病になる人生になってしまいました。【奴隷の娘】敵国の人の為にも必要な事が伝えられる人でした。自分の国、イスラエルに真の神がいると言う事もよく知っていましたし、神を信じていた事もわかります。彼女がエリシャの事を知らせていなかったらこれらの全ての事は起こらなかったと言えます。これらの登場人物から①先を視ているか？ナアマンがヨルダン川に身を浸し、らい病が癒されたのは、癒された先の姿を視ていたからです。途中すねたものの信念を持っていたから変なプライドを捨てて川に入る事ができました。私達も先を視ていないと神にせよと言われた事を平気で拒んでしまう結果になってしまいます。②何を大切にしているか？神との約束を大切にしていますか？あなたにとって「ここだけは」という事まで曲げてはいけません。③一時的な欲に負けない。一時の欲に負けてしまうと上記の①、②をさせなくしてしまいます。あなたにとって負けそうな欲をしっかりと押さえて下さい。ゲバジは一時の欲に負けてしまった為、らい病になってしまいました。神による信念を持ち続けているでしょうか。「こうしなさい」という事が心にありますか。信念はいつも欲に狙われています。「こうしないさい」と言われた事をあなたが一つづつ果たす事で神はあなたに素晴らしい祝福を与られます。今一度あなたと神の約束をしっかりと胸におき、しっかりと信念を持って歩いて下さい。あなたの信念が周りの人をも左右させます。あなたの信念が家族を養うのです。信念を持ち、大切だと思うことを実践する人生にしましょう！